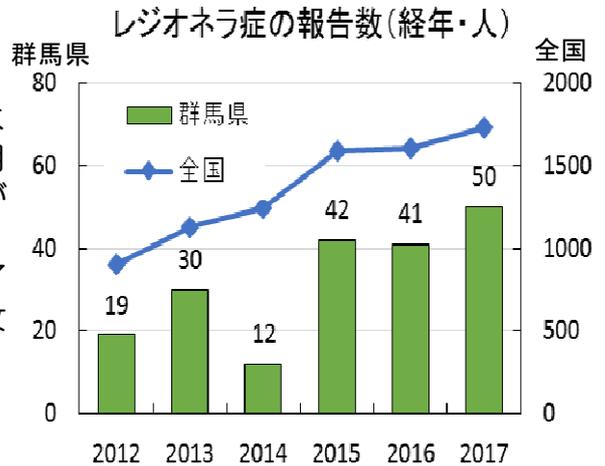


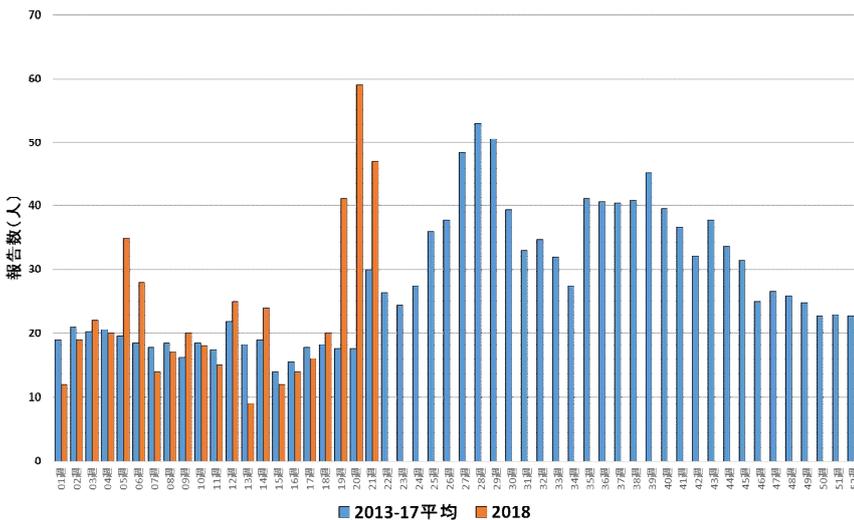
# レジオネラ症は夏期に増加します!

## ◆ 患者発生状況

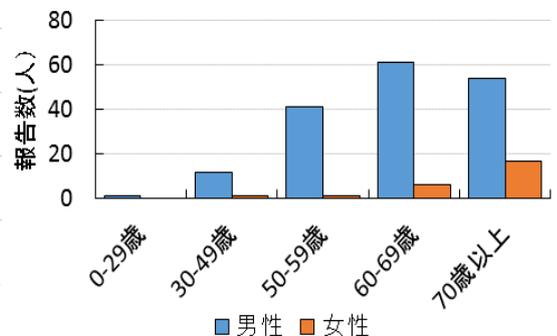
- 近年、全国的にレジオネラ症が増加傾向にあります。
- 国立感染症研究所の報告(2017年10月)によると、全国的には7月を中心に増加し翌3~5月にかけて減少する傾向があり、50歳以上の方が90%以上を占めていました。
- 群馬県でも近年増加傾向があり、2012年~17年の報告では、50歳以上の方が93%を、男女比では男性が87%を占めていました。



レジオネラ症報告数(全国・週別) 2013-17平均と2018年(21週まで)



レジオネラ症報告数(群馬県) 性別・年齢別(2012~2017年)



## ◆ どんな病気?

- レジオネラ属菌が原因で起こる感染症です。レジオネラ属菌は一般的には水中や湿った土壌中などにアメーバ等の原虫類を宿主として存在しています。レジオネラ属菌を含むエアロゾル(目に見えないほどの細かい水滴)やほこり・ちりを吸入することで感染します。
- 高齢者や糖尿病、肺疾患など基礎疾患のある人、抵抗力が弱い人は重症化しやすく、急激に悪化して命に関わることもあります。

## ◆ 予防・対策は?

- 浴槽水や加湿器の水は、こまめに換水や洗浄をして清潔を保ちましょう。
- エアロゾルが発生する高圧洗浄、ほこりやちりが発生する作業の際にはマスクを着用しましょう。



\*この情報に関するお問い合わせ先:群馬県感染制御センター(群馬県衛生環境研究所)

TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyo-c@pref.gunma.lg.jp